

現在の女子高校生の美容意識と実態

～「盛る」より「研く」へ～

生活者研究センター
ビューティケア研究室

流行に敏感だけでなく、数々の流行を生み出してきた「女子高生」たち。2000年前後に生まれた現在の女子高校生は、SNSやスマホが当たり前のデジタルネイティブ。

彼女たちを育ててきた教育や取り巻く環境も大きく変化し続け、かつてないほどに情報化の進んだ今に暮らす、女子高校生たちの美容へのおもいや実態について報告します。

●「個」と「多様性」を尊重する教育と情報化社会が背景

●「自分らしさ」を重視した美容意識と行動

- ・自分の良いところを把握し活かしたい
- ・高校生らしさを活かし、誰からも高評価を得たい
- ・盛りすぎず、自分の素材そのものを大切に

●効率よく情報を取り入れ、「盛る」より自分を「研く」へ

【調査概要】

「若年女性の美容意識・美容実態」

調査期間：2016年10月

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国16～29歳未婚女性

回答者数：865人

調査期間：2017年3月

調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏在住10～20代未婚女性

回答者数：400人

「現在の女子高校生の美容意識・行動実態」

調査期間：2017年1～2月

調査方法：インタビュー調査

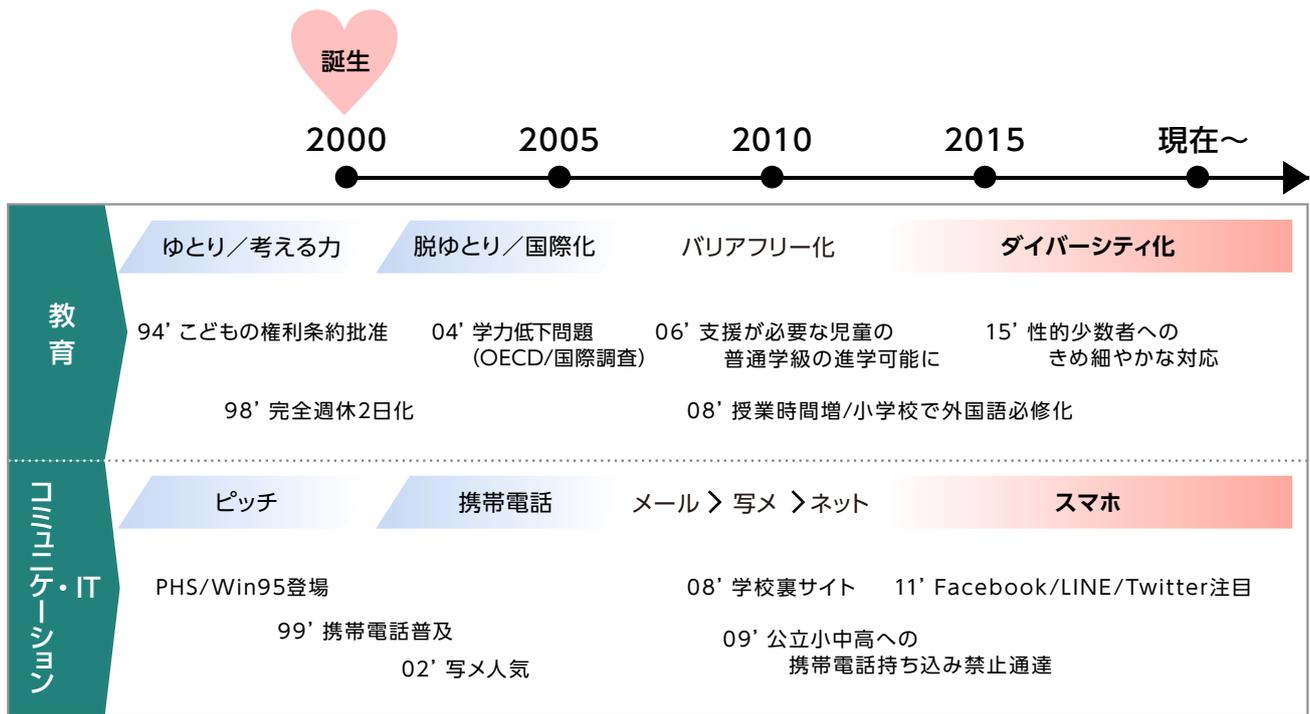
調査対象：首都圏在住高校1,2年生女子

対象者数：14人

「個」と「多様性」を尊重する教育と情報化社会が背景

現在の女子高校生は、脱ゆとりから個性や多様性を認めるダイバーシティ化していく教育環境のなかで育ってきました。「ナンバーワンよりオンリーワン」といった、一人ひとりの違いを認め「自分は自分でいい」という価値観を育み身につけてきた世代といえます。

デジタルネイティブと呼ばれる彼女たちは、スマートフォンやSNSなどの膨大な情報量の中から、知りたい情報を簡単に手に入れてきました。そのため、憧れの対象も以前に比べ身近な友達から海外セレブまで幅広く多様です。また、スマートフォンで自撮りした写真等のSNSへの投稿をきっかけに、実際に会ったことのない相手など、リアルではない非日常の人との関わりも増えています。



「自分らしさ」を重視した美容意識と行動

インタビューやインターネット調査から、今の女子高校生たちは、以下のような特徴があることがみえてきました。

スマホでチェック、自分の良いところを把握し活かしたい

美容行動やそのおもいについて聞いてみると、「自分の良さを最大限に活かしたい」と考えて美容に向き合っていました。今の女子高校生はスマホで自分を撮影し、かわいく見える角度や顔、体型、雰囲気をよく研究しています。かつてのアムラー*達とは異なり、自分の顔や雰囲気が似ている人を理想とし、その憧れの人に似ている部分を「自分の強み」と考え、憧れの人を参考に情報を基に活かそうと工夫している様子がみられました。

※アムラー

歌手・安室奈美恵を模倣したファッションをする人をいう。1996年をピークに女性の間で流行し、ミニスカート・厚底ブーツ・ロングヘアに茶髪・剃り落した後に描いたような極端な細眉が特徴で、日焼けサロンなどで焼いた浅黒い肌も好まれた。

高校生らしさを活かし、誰からも高評価を得たい

女子高校生たちは学校生活などリアルな日常生活でもSNSでのつながりでも、男女を問わず評価され、親や教師からも受け入れられるような、誰からも否定されない見た目を目指していました。周りに不快なおもいをさせていないか、悪目立ちしていないかを気にかけ、「高校生らしい清楚な見た目」を心がけているようでした。

盛りすぎず、自分の素材そのものを大切に

肌、髪ともに傷めないよう、素材の美しさを大切にすることも彼女たちの美容の特徴でした。メイクをする時は素肌に近いナチュラルな仕上げに、髪は乱れがなく、きちんと見えるようにスタイリングに手間をかけています。肌や髪そのものを、自分なりに美しく保つ手入れを習慣にしていました。

それは、自分らしさを伸ばしたいというおもいととも、スマホの写真アプリなどで加工された写真とリアルな自分のギャップを埋めておきたいという意識もあるようです。リアルな自分を盛らなくてもよい状態にしようと努める様子がみられました。

美容意識と行動例

フェイス

日々、スマホで自分の顔の観察・研究、わずかな変化も見逃さない。
(高2)

太ったなど変化があったら、すぐ対処!化粧水を塗るときは、顔をたるませないように下から上に手を動かす。

童顔でかわいいタレントSさんが憧れ。憧れのタレントと同じ角度から自分の写真を撮って比較。鼻・口・輪郭が似ている!
(高2)

より童顔の輪郭に見せるため、触角ヘアを伸ばす。



ヘア

友達から、だらしなく見られたくない!
(高1)

朝は入念にスタイリング。前髪はコテで丁寧に伸ばす。後ろ髪は内巻きに。キープしたいから仕上げにスプレーする。

盛りすぎはNG。飾らずに肌や髪のをきれいさを大事にしたい。
(高2)

シャンプー・リンスなど、当たり前のことをきちんとし、髪をツルツルに。ファンデーションは化粧下地で肌を守ってから塗る。

スキンケア

肌が汚いとかわいく見えない。わたしは肌からかわいくなりたい。
(高1)

ニキビができればいつも持っている薬を塗って、すぐ治すようにしている。

友人にほめられた肌の白さを強調していきたい!
(高2)

より肌を白くするために、白くなる効果のある保湿クリームを使う。

ファッション

憧れの人に身長や体型が似ているのでメイクやファッションもまねしやすい。
(高2)

服は、自分と感じが似ているタレントやモデルのコーディネートを参考にする。



メイク

メイクが濃すぎると男子からひかれる。やらないと女子から地味に思われる。
(高2)

高校生らしいナチュラルメイク! ファンデーションで粉々しくならないように、おしろいとブラシで薄づきすっぴん風。

濃いメイクは、制服に合わないし、先生に怒られるのは面倒。
(高2)

効率よく情報を取り入れ、「盛る」より自分を「研く」へ

日々、膨大で流れの早い情報のなかで暮らす女子高校生たちは、すべての流行を追うのは無駄と捉え、実現可能なことや自分にとって必要な情報を効率的に取捨選択して美容に取り入れていました。

「パーツを研究し、自分の強みを発見する」、「誰からも否定されない見た目を目指す」、「髪や肌を傷めないで整え、リスクを最小限にする」など、彼女たちの美容へのこだわりは、濃いメイクやヘアで「盛る」より、自分の良いところをみつけて、大切にすること＝「研く」こと。高校生らしい今の自分のベストを目指す美容行動に努めていました。

現在は、写真の画像加工などが簡単にできるようになっていますが、自分自身の素を研こうとする美容に対する姿勢をこれからも大切にしてほしいと思いました。

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/life/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。